

企画県土警察常任委員会資料

(平成24年1月20日)

- 1 平成24年度鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業候補
第1次募集の開始について 【文化政策課】 . . . 1ページ
- 2 エンジン01^{ゼロワン}文化戦略会議オープンカレッジin鳥取の開催に
ついて 【文化政策課】 . . . 2ページ
- 3 「とリアート構想」の策定及び鳥取県総合芸術文化祭実行委員会
委員等の募集について 【文化政策課】 . . . 3ページ
- 4 台湾でのトッププロモーション結果について
【交流推進課】 . . . 9ページ
- 5 「まんが王国とっとり建国記念 国際まんが博」実施計画作成業務に係る
プロポーザル審査結果について 【観光政策課】 . . . 12ページ

文化観光局

平成24年度鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業候補
第1次募集の開始について

平成24年1月20日
文化政策課

鳥取県では、県内の芸術・文化活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠を置く芸術・文化団体等が自主的・自発的に行う活動に対し支援を行っています。
このたび、平成24年度交付対象事業の候補を下記のとおり募集します。

記

1 募集事業

事業区分	内容
(1) 優れた芸術・文化活動支援事業	芸術・文化団体等が自ら企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援（6事業程度）
(2) 刊行物発刊支援事業	県内で行われる日本語による出版活動に対する支援（3事業程度）
(3) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	県内でステップアップを図ろうとする芸術・文化団体等が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援（5事業程度）
(4) 周年支援事業	定例化した芸術・文化活動の周年事業に対する支援（5事業程度）
(5) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	芸術・文化活動をツールとしたまちづくり事業に対する支援（3事業程度）
(6) 次世代活動者育成支援事業	芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る芸術・文化団体が行う作品展示・舞台公演に対する支援（8事業程度）

2 対象事業

平成24年4月1日（日）から平成25年3月31日（日）までの間に実施される事業

3 募集期間

平成24年1月23日（月）から同年2月24日（金）まで（必着）

4 申込方法

希望者は、事業実施計画書及び収支予算書を作成し、県庁文化政策課に申込み。

5 選定方法

- 1の（1）の事業については、選定委員会があらかじめ設定した審査基準に基づき審査を行い、審査結果をもとに文化観光局長が候補を選定。
- 1の（2）から（6）までの事業については、補助事業要件との適合性を判断し、文化観光局長が候補を選定。

6 その他

- 24年度当初予算成立後に交付対象事業として認定を行う。
- 補助事業要件、補助対象経費等の詳細については、ホームページ（とりネット）に掲載しています。

<参考：平成23年度の状況>

交付団体 18団体
交付見込額 2,440千円（補助率1/2以内）

エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ in 鳥取の開催について

平成24年1月20日
文化政策課

各分野の第一線で活躍する文化人たちが構成する「エンジン01文化戦略会議」のメンバーが鳥取の地を訪れ、3日間に渡って地域の人々との知の交流を行うオープンカレッジを開催します。

1 開催概要

開催時期	平成24年3月23日(金)、24日(土)、25日(日)
主催	エンジン01文化戦略会議
共催	エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ in 鳥取実行委員会(実行委員長 桶谷靖志氏(鳥取商工会議所青年部会長))、鳥取県、鳥取市
テーマ	テーマ『砂上の実論。』基本コンセプト『鳥取は、先取りのまちになる!』
催事内容	1日目: オープニングイベント(於: とりぎん文化会館) 2日目: 各種講座(於: 鳥取環境大学) 別添チラシ参照 夜楽(於: 鳥取市内飲食店) 飲食店を会場に、昼間の姿とは一味違ったエンジン01会員と地域住民が膝を交え、地元の酒食を囲んで語り合う放課後授業。 3日目: クロージングイベント(於: とりぎん文化会館)

2 開催趣旨及び意義

各分野の文化人との交流を通して、県民・市民が大いに刺激を受け、地元の文化・魅力・誇りを再認識するとともに、地域文化を全国に発信することにより、鳥取のイメージ向上及び交流人口の拡大等を図る。

- 意識啓発及び人脈形成 … 著名人と地域住民が直接触れ合うことで、地域の文化創造の意識啓発を図るとともに人脈を築く絶好の機会になる。
- 地域の活性化 … 開催後もエンジン01文化戦略会議の会員と地域との関係を継続させ、「02」、「03」へと発展させていき、地域の活性化につなげる。
- 鳥取の魅力の全国発信 … 講師メンバーに地元ファン、地元サポーターになってもらうことにより、ブログ等で鳥取の魅力を全国へ発信してもらい、鳥取観光を盛り立てる。

3 今後の予定

- ◆2月4日(予定) シンポジウム・講座のチケット 販売開始

(主な販売場所)
とりぎん文化会館、鳥取市民会館、鳥取市ふるさと物産館(JR鳥取駅構内)、倉吉未来中心、米子コンベンションセンター、チケットぴあ、ローソンチケット(とりぎん文化会館梨花ホール)
のチケットのみ) ほか

- ◆2月上旬 夜楽会場(約20店舗)の発表
- ◆2月下旬 夜楽のチケット販売開始 ※販売場所は未定
- ◆3/23~25 「オープンカレッジ in 鳥取」の開催

「エンジン01文化戦略会議」について

- 趣 旨 各分野の表現者・思考者たちが日本文化のさらなる深まりと広がりを目的に参集したボランティア集団で2001年に発足。現在、約220人の会員で構成。
- 活動内容 ①政策提言活動 ②オープンカレッジの開催 ③教育活動 ④動物愛護活動 等
- 名前の由来 エンジン(ENJIN)はEncourage Japan Intelligent Networkの略。また、新時代の文化形成の「エンジン」となり異分野の才能が「円陣」を組むことを呼びかけることも意味。
- 役員 代表: 樋口廣太郎氏(アサヒビール相談役)、幹事長: 三枝成彰氏(作曲家)
副幹事長: 林真理子氏(作家)、矢内廣氏(ぴあ代表取締役社長) など

「とりアート構想」の策定及び鳥取県総合芸術文化祭実行委員会委員等の募集について

平成24年1月20日
文化政策課

平成24年度で10回目を迎える「とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」のあり方を検討する「とりアート構想」策定会議において、平成23年11月に「とりアート構想」（以下「構想」という。）が策定されました。これを受け、来年度から「とりアート」の企画運営及び事業実施を行っていただく、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会の委員及び「とりアート」をはじめとする文化芸術事業を評価する鳥取県文化芸術事業評価委員会（仮称）の委員を募集します。

1 「とりアート構想」の概要

(1) 「とりアート」事業の目的

全ての県民が文化芸術に理解と親しみを持ち、自ら取組むことで、心豊かで満ち足りた生活を送ることが出来るようになることを目指し、そのために必要となる人材育成を広範に行う。

(2) 主催者、会期

①主催者：鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県

②会期：通年

(3) 事業構想

①目標

県内の文化芸術活動の裾野の拡大及び頂点の伸長並びに多様な人材の育成。

②内容

ア 主催事業

・各地区企画運営事業 ・メイン事業 ・人材育成事業 ・その他の事業

イ 参加事業

主催者以外の県内文化芸術活動主体が行う文化芸術事業のうち、構想の目標に寄与する事業。

(4) 推進体制

・実行委員会、各地区企画運営委員会を設置。また、それぞれの委員会に部会を設置し、効率的な運営に努める。

・鳥取県文化団体連合会等既存の文化団体、文化活動者との協働、教育機関等との連携を推進する。

(5) 事業評価、その他

・実行委員会は県に設置する評価委員会の指摘事項を受け、改善計画を作成。

・必要に応じ、適切な時期に本構想の見直しを行う。

2 県民の意見募集（パブリックコメント）の実施結果

(1) 募集期間 平成23年10月7日（金）～10月27日（木）

(2) 意見件数 42件（12名）

内訳及び主な意見	対応
○反映した（1件） ①委員を全て公募とした場合、委員会の運営に支障をきたす。	①委員の選考は公募を中心としながら、弾力的な運用ができるものとするよう修正。
○既に盛り込み済み（11件） ①イベントを通じてではなく、独立した事業として人材育成を行うべき。 ②メイン事業は舞台分野だけでなく、その他の分野にも広げるべき。	①構想では講習会、ワークショップ、個別指導等を通じた人材育成を行うこととしている。 ②構想ではメイン事業は舞台分野に限るものではない旨を記述。
○今後の検討課題（13件） ①高校生が出場できる時期に事業を実施し、次世代育成や入場者数増加を図るべき。 ②人材育成について具体的構想が必要。	①とりアートの実施にあたり、運用で対応。 ②人材育成・活用プラン及び具体的事業内容は次期実行委員会で検討。

○対応困難（17件） ①メイン事業の必要性及びステージを使った企画である必然性等、一から再考してほしい。 ②とりアートは発展の場ではなく、発表の場ではない。	①構想の策定会議では、メイン事業は総合的な文化芸術の事業には欠かせないという結論。 ②構想の策定会議では、イベントを通じた人材育成を目的とし、県内の文化芸術活動の水準を向上させることを目指すべきという結論。
--	--

3 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会の委員募集

(1) 目的

とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の各事業の企画運営及び実施

(2) 内容・条件等

会議名	募集人数	役割	その他条件等
メイン事業部会	8名程度	メイン事業の企画調整及び委託先の選定等 (メイン事業：県内の様々な文化芸術活動主体の協働により、良質で創造的な舞台作品等を東・中・西部地区持ち回りで提供する事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・任期 3年間 (平成24年4月1日～平成27年3月31日) ・謝金及び旅費を支給
人材育成部会	10名程度	人材育成・活用プランの作成及び人材育成事業（研修・ワークショップ等）の実施	
広報部会	4名程度	広報計画の作成、実施及び各種PRイベントの実施	
各地区企画運営委員会 ※東・中・西部の各地区に設置	各地区14名程度	各地区企画運営事業の企画・実施 (各地区企画運営事業：東・中・西部の各地区ごとに事業テーマを定めて、ステージイベントや展示、ワークショップなどを県民から企画公募し、市町村等との協働により様々な場所にてぎわいを演出しながら実施する事業)	

(3) 応募資格

平成24年4月1日現在、年齢18歳以上の方で、県内在住又は県内の企業等に勤務している方。

(4) 応募期間

平成24年1月下旬～3月上旬

(5) 選考方法

応募申込書に記載された応募動機の内容を審査するとともに、必要に応じて面接を実施し選考。

4 鳥取県文化芸術事業評価委員会（仮称）の委員募集

(1) 目的

鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県文化団体連合会、県が行う文化芸術事業の評価を行う。

(2) 内容・条件等

募集人数	役割	その他条件等
5名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回程度の評価委員会への出席 ・評価報告書を作成するため、評価対象事業を鑑賞し、レポートを執筆。 	<ul style="list-style-type: none"> ・任期 2年間 (平成24年4月1日～平成26年3月31日) ・謝金及び旅費を支給

※応募資格、応募期間、選考方法は、上記3の実行委員会と同様とする。

と り ア ー ト 構 想

平成23年11月16日制定

前文

文化芸術は人びとに生きる喜びをもたらすものであり、鳥取県民一人ひとりが様々な文化芸術活動を実践し楽しむことは、心豊かで活力ある社会の実現に資する点で重要である。

平成14年に本県で開催された国民文化祭の精神を継承し、発展させるために始まった鳥取県総合芸術文化祭（愛称：とりアート）はこれまでの9年間、県民に多様な文化芸術を提供することを目的として実施してきた。

今後は、こうした実績をもとに文化芸術活動の充実に不可欠な人材の育成を事業の核に据えて取り組むとともに、県民一人ひとりがこの事業に主体的に関与し、生活の中に文化芸術を活かすことで、文化芸術を通じた地域の活性化と県民生活の質の向上に寄与するために実施するものである。

1 目的

当事業の実施を通じて、全ての県民が文化芸術に理解と親しみを持ち、自ら取り組むことで、心豊かで満ち足りた生活を送ることができるようになることを目指し、そのために必要となる文化芸術の人材育成を広範に行うことを目的とする。

2 名称、主催者、会期

- (1) 名称：鳥取県総合芸術文化祭（愛称：とりアート）
- (2) 主催者：鳥取県総合芸術文化祭実行委員会（以下、「実行委員会」という。）、鳥取県
- (3) 会期：通年とする。

3 事業構想

(1) 目 標

- ① 県内の文化芸術活動の裾野拡大を目指し、県民誰もが気軽に文化芸術に触れ、楽しむことができるような、機会の提供を行うとともに、その充実を図る。
- ② 県内の文化芸術の質の向上を図り、頂点の伸長を目指して、県民ニーズに沿った良質な作品の提供を行う。
- ③ 県内の文化芸術活動の円滑な遂行とそのレベルアップを図るため、活動者（指導者、後継者、担い手を含む）、鑑賞者、アートマネジャー、技術者、支援者等の必要な人材の育成を図るとともに、その人材育成に必要な措置を講じる。また育成した人材を活用する場を作る。

(2) 内 容

とりアートの事業は、以下のとおりとする。

【主催事業】

主催者が上記（1）の目標を達成するために実施する。

なお、主催事業の実施に当たっては、目標達成のために各事業が満たすべき基準を別に定める。

①各地区企画運営事業

- ・実行委員会は、県内の文化芸術活動の裾野拡大のため、誰もが気軽に親しめる事業を実施する。
- ・実施方式＝東・中・西部の地区ごとに事業テーマを決定し、それに基づいた企画を公募し、市町村等との協働により、様々な場所でにぎわいを演出しながら事業を実施する。

②メイン事業

- ・実行委員会は、県内の様々な分野の文化芸術活動主体の協働により、良質で創造的な舞台作品等を提供する。

・実施方式

(ア) 企画

実行委員会は、県民が鑑賞を希望する文化芸術事業に関する調査を行い、その結果に基づいた事業を事業実施地区委員会の意見を踏まえ、文化芸術活動者が提供できる内容と調整の上、企画する。

なお、過去の作品の再演も検討する。

(イ) 制作

実行委員会は、県内の文化団体等に事業制作を委託する。

(ウ) 開催場所及び頻度

会場は東・中・西部地区持ち回りとし、毎年度、実施する。

(エ) 準備期間

事業実施に際しては2年の準備年度を設け、各地区3年周期で実施する。

(オ) 当該方式による事業実施が円滑に行われるようになるまでの当分の間、2年に1度の事業実施とする。

③人材育成事業

- ・実行委員会は、文化芸術活動を持続的に向上・発展させるのに必要な人材を育成する。
- ・実施方式＝講習会、ワークショップ、個別指導等を実施して人材育成を行うとともに、その育成した人材に事業実施を委託する等、文化芸術活動の実施に必要となる多様な人材を育成する場を設け、とりアートの事業を中心としてその活用を図る。

④その他の事業

- ・上記①～③の事業以外で、主催者が実施する事業のうち、上記(1)に掲げる目標の実現に資する事業。

【参加事業】

- ・主催者以外の県内の文化芸術活動主体が行う文化芸術事業のうち、上記(1)に掲げる目標に寄与する事業を「参加事業」とし、とりアートの主催者は広報

等の協力、連携を行う。

4 推進体制

上記の事業構想を実現するため、推進体制は以下のとおりとする。

(1) 実行委員会

県内の文化芸術活動者、鑑賞者、学識経験者、マスコミ関係者、教育関係者、行政等の委員及び各地区企画運営委員会の代表者で構成する。委員の選考には公募を取り入れる。実行委員会に以下の部会を設置し、委員はいずれかの部会に所属する。部会の役割は以下のとおりとする。また、必要に応じて、委員会内にプロデューサーを置く。

名 称	主 な 委 員 属 性	役 割
幹事会	各部会長及び各地区委員会代表	事業全体の総合的な情報共有等
メイン事業部会	文化芸術活動者、鑑賞者、学識経験者、教育関係者、行政、事業実施地区の企画運営委員会の代表	メイン事業の企画調整、委託先の選定、委託事務の進捗管理（質の管理も含む）、事業実施に際しての実施地区の委員会及び広報部会との各種連携等
人材育成部会	文化芸術活動者（指導者）、学識経験者、教育関係者	人材育成・活用プランの作成、中高生を中心とする若年層が行う文化活動への支援、人材育成事業の実施等
広報部会	文化芸術活動者、マスコミ、行政、各地区企画運営委員会代表	事業広報の戦略の作成・実施、各種PRイベントの実施等

(2) 各地区企画運営委員会

- ・県内の文化芸術活動者、鑑賞者、学識経験者、マスコミ関係者、教育関係者等で構成する。委員の選考には公募を取り入れる。
- ・各地区委員会には部会を設置し、機能的で効率的な運営に努める。

(3) 広報

- ・広報部会が中心となり、訴求力のある広報企画及び適切なツール、時期を定める広報計画を策定する。
- ・県民への事業定着を目指し、多様な主体との新たな連絡会議の設置等も視野に入れ、効率的で効果的な広報を実施する。

(4) 連携

- ・県及び実行委員会は、社会と文化芸術をつなぐアートマネジメントの重要性に鑑み、県文連等既存の文化団体、文化芸術活動者等との協働、教育機関等との連携を推進

し、事業実施、人材育成において県内の様々な団体や個人と連携を行い、とリアートを円滑に実施する。

5 事業評価

実行委員会は県に設置する評価委員会の指摘事項を真摯に受け止め、指摘事項に対する改善計画を作成し、評価委員会へ提出する。

6 その他

この構想は必要に応じ適切な時期に見直しを行うものとする。

台湾でのトッププロモーション結果について

平成24年1月20日
交 流 推 進 課

台湾での「まんが王国とっとり」のPRや県産品の販売促進等を図るため、下記のとおり知事が台湾でトッププロモーションを実施しました。

記

1 訪問日程

平成23年1月9日（月・祝）～1月12日（木） ※鳥取空港発着チャーター便利用

2 参加団体

鳥取県、鳥取市、三朝町、北栄町、鳥取県日華親善協会、鳥取県日華親善議員連盟、鳥取大学、全農とっとり、JA鳥取中央、スポーツツーリズムPR団（県サイクリング協会ほか）

3 結果概要

(1) トッププロモーション

ア まんが王国とっとりプロモーション

- 1月19日から台北市内の文化施設「華山1914文化創意産業園區」で「ゲゲゲの鬼太郎の妖怪樂園」というイベントが開催されることから、知事と関係者との対談とマスコミ取材を行い、「まんが王国とっとり」の魅力をアピールした。また、鳥取県の情報発信について協力を求めたところ、華山1914文化創意産業園區のインフォメーションセンター内に4月末まで鳥取県PRコーナーを設置することとなった。
- 本県事業者が「鬼太郎商店」を出店している台北駅構内で、鬼太郎の着ぐるみも交えて記念撮影やじゃんけん大会を実施し、まんが王国ととりのPRを行った。
- 国際マンガサミットの台湾側事務局である台北市漫画従業人員職業工会を訪問し、サミットの運営案について協議するとともに、まんが王国とっとり建国イヤーイベントや観光、グルメ等の魅力を紹介し、国際漫画コンテストの作品募集に対する協力を依頼した。また、8月から実施する国際まんが博へ台湾の漫画家が出展することについて賛同いただき、今後具体的な内容について検討することとなった。
- 台中市内百貨店において「まんが王国とっとりフェスタ」を開催し、国際まんが博や温泉、自然などをめぐる鳥取県観光や、梨、あんぼ柿をはじめとした県産品をPRした。また、北栄町長や青山剛昌先生の御尊父らとともにテープカットを行って開幕を祝い、三徳山行者太鼓保存会えん太が和太鼓演奏を披露した。

<イベント概要>

会 期 平成24年1月12日（木）～16日（月）5日間

会 場 新光三越台中中港店 屋外広場（台中市）

実施企画 まんが王国とっとりクイズ大会、スタンプラリー、豪華景品抽選会（米子鬼太郎空港往復航空券、三朝温泉旅館宿泊券等）、芸能披露（三徳山行者太鼓保存会えん太による和太鼓演奏）、物販コーナー（あたご梨、鬼太郎商店、澤井珈琲）、キャラクターぬりえ、ゆかた体験等

イ チャーター便誘致プロモーション

- 復興航空を訪問し、鳥取県内空港へのチャーター便運航について要請したところ、後日、今春以降の本県へのプログラムチャーター便運航を決定した旨連絡をいただいた。
- 今回のチャーター便運航会社であるマンダリン航空を訪問し、継続したチャーター便運航について

要請を行ったところ、今後も相互チャーター便の運航を企画したいとの回答をいただいた。また、同席した旅行社から、本県の観光素材を評価しつつも知名度不足を指摘する声があり、旅行社を対象とした山陰へのファミツアーの実施や台中旅遊博覧会への参加の要請があり、今後対応していくこととした。

ウ スポーツツーリズムプロモーション

- 台湾最大の自転車メーカー・ジャイアント社を訪問し、劉金標（リウ・ジンピョ）会長に対して本県西部地域のスポーツツーリズムの魅力を紹介し、本県の健康づくりや地域振興活動への協力を依頼した。
- また、ツール・ド・大山等のスポーツ大会の知名度向上や国際化に向け、ジャイアント関連のサイクリストチームの参加や大会への協賛協力を要請したところ、劉会長は鳥取のスポーツツーリズム環境を評価し「真剣に検討する」と答え、今後、同社の日本法人を通じて調整を進めていくこととなった。

エ 県産品セールス

- 新光三越信義店やまんが王国とっとりフェスタ会場において、全農とっとりが旧正月向けに輸出したあたご梨及びあんぼ柿のおいしさを台湾の消費者に店頭でアピールした。

(2) 台中市との交流

- 胡志強（フー・ジーチン）台中市長を訪問し、両都市の交流について協議した。交流継続の意向を伝えた胡市長に対し、知事は「これまで以上に観光交流を推進していきたい」と述べ、具体的な案として、両地域を結ぶチャーター便の運航協力、両地域が推進しているサイクリングツーリズムでの連携、青少年交流の推進、鳥取と台中の各温泉地での相互PR協力を提案した。胡市長は、知事の提案に賛同し、三朝町と石岡区、北栄町と大肚区の交流支援継続や両地域間チャーターの推進も含め、交流発展に取り組んでいく決意を示した。
- 台中市に本部を置く東海大学を訪問し、日本との交流に関心のある教職員、学生、一般市民と意見交換し、市民レベルの交流促進を図るとともに、東日本大震災に対する台中市民の支援に感謝の意を伝えた。

【参考】知事日程

月日	日程
1月9日（月/祝）	鳥取空港→台中空港（マンダリン航空チャーター便） 台中→台北 ○金傳媒集団及び華山文創實業股份有限公司との対談（聯合報取材） ○亜東関係協会主催歓迎会
1月10日（火）	○復興航空訪問 ○台北駅でのまんが王国とっとりプロモーション ○台北市漫画従業人員職業工会（国際マンガサミット事務局）訪問 ○新光三越百貨股份有限公司訪問 ○新光三越信義店での鳥取県産品トップセールス
1月11日（水）	台北→台中 ○東海大学との交流会 ○ジャイアント（自転車メーカー）訪問 ○マンダリン航空訪問 ○台中市政府主催歓迎会
1月12日（木）	○台中市長との会談 ○「まんが王国とっとりフェスタ in 台中」開幕式典 台中空港→鳥取空港（マンダリン航空チャーター便）

【写真】



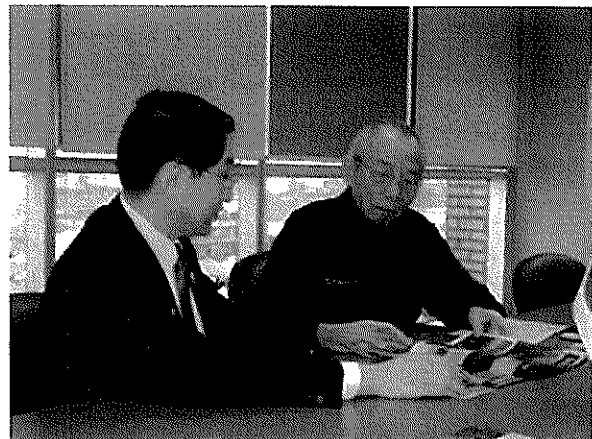
台北駅でのまんが王国とっとりプロモーション



台北市漫画従業人員職業工会訪問



新光三越信義店での県産品トップセールス



ジャイアント社訪問



台中市長との会談



「まんが王国とっとりフェスタ in 台中」開幕式典

「まんが王国とっとり建国記念 国際まんが博」実施計画作成業務に係る
プロポーザル審査結果について

平成 24 年 1 月 20 日
観 光 政 策 課

「まんが王国とっとり建国記念 国際まんが博」の実施計画作成業務に係る企画提案について、1月11日（水）に審査会を開催し、次のとおり最優秀提案者を選定しました。

1 審査結果

当初 6 社（うち共同企業体 4 社）から参加申込があり、このうち 2 共同企業体がプレゼンテーションに参加しました。審査の結果、(株)トレードマーク鳥取を幹事社とする共同企業体が最優秀提案者として選定されました。

・構成企業（【 】は本社所在地）

(株)トレードマーク鳥取【鳥取市】、(株)ナカハタ【東京都】、(株)電通【東京都】、
(株)電通西日本【大阪府】、(株)新日本海新聞社【鳥取市】、(株)山陰放送【米子市】、
(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ【大阪府】 以上 7 社

2 最優秀提案者の企画提案内容等（詳細別添）

(1) 特長

- ・本県出身の著名なまんが家を中心に数多くのまんが・アニメコンテンツを網羅し、展示、体験コーナー、ステージショー、ワークショップ、食など幅広い展開。
- ・ディズニーの人気キャラクター「スティッチ」を活用した県内観光地回遊イベントなどの展開。

(2) 審査員の主なコメント

- ・今年をまんが王国と通りの建国年ととらえたブランド戦略としての企画になっており、イベント内容も集客が見込める。
- ・鳥取県を代表する 3 人の漫画家とディズニーキャラクターの融合を高く評価する。
- ・(コスプレショーやアニメソング歌合戦など) コアなファン層に向けた内容も欲しい。

3 審査員

「まんが王国とっとり」建国推進委員会委員のうち、まんが関連イベントの知識が豊富な方（2名）、県内在住のまんが愛好家、県内観光業界代表、旅行業団体代表、県職員の合計 6 名。

4 今後のスケジュール等

現在、県からの追加提案事項等について最優秀提案者と協議を開始したところであり、今後、次のとおり実施計画作成業務等「国際まんが博」の開催準備を進めていく予定です。

《スケジュール》

平成 24 年 1 月下旬	最優秀提案者との実施計画作成業務委託締結
2 月上旬～	平成 24 年度当初予算案として議会説明・提案
2 月末	実施計画完成
3 月中旬	「国際まんが博」公式ガイド（第 1 弾）の作成及びマスコミ、旅行会社等へ PR

プロポーザル提案の概要

以下は、提案内容の抜粋であり、今後、県から指示するイベントの追加や内容の充実などを含めて実施計画を作成していくものです。

◎提案者の考え方

「国際まんが博」は一過性のお祭りでなく、
◆24年度を始動期ととらえ、まんが王国事業の本格稼働の年とする。
◆観光振興はもとより、人材育成や情報発信等他分野との連携・発展を図る。
◆マンガを核に、そこから派生するサブカルチャーを含む幅広い取組みとし、大人から子供まで参加し、楽しめるものとする。
という視点に立って企画したもの。

◎主な構成

1. 巡回型パッケージイベント

県内のより多くの方々に参加していただきつつ、国内外の観光客を引き込むため、以下の要素をパッケージ化した大型イベントを県内巡回移動方式で開催する。

①まんがコリドー

県出身3名の巨匠の立体まんがにより構成される迷路のようなまんがコリドー（回廊）をイベント会場の入り口部分に設置。

②まんがの世界の展示・体験空間

本県出身のまんが家、日本が誇る漫画家、海外で活躍する漫画家の原画展示、「海洋堂」など世界屈指の水準を誇るアニメフィギュア会社の作品展示、画像の合成によりまんがの世界に入り込むことができるコーナーの設置、まんがが作成され手元に届くまでの過程を紹介するコーナーなどの設置。

③まんがライブステージ

子供に人気のキャラクターステージショー、漫画家トークショー、まんが博士クイズ大会、アニメソングコンサート、コスプレイベントなどの実施。

④マンガを楽しむ空間

ゆっくりとまんがを読むスペースの設置。

⑤ワークショップ

まんがやアニメーション作りを体験するスペースの設置。

⑥食の空間

国際まんが博オリジナル料理や食のみやこ鳥取を発信するスペースの設置。

⑦ショップ空間

まんがやアニメのキャラクター商品を販売するスペースの設置。

2. 世界のまんがを代表するディズニーキャラクター活用イベント

2012年に生誕10周年を迎えるディズニーキャラクター「スティッチ」をメインキャラクターとした以下のイベントを県内全域で展開する。

① リロ&スティッチ オリジナル新作アニメinとっとり

鳥取を舞台とした新作アニメーション作成。

② 県内回遊イベント リロ&スティッチを探せ

県内の観光施設等にポイントを設置し、スタンプを集めて回る。

③ リロ&スティッチ映画祭

10年間の作品から選定して上映。

④ リロ&スティッチアート展

「リロ&スティッチ」の製作過程を展示紹介。

⑤ リロ&スティッチ作画体験

ディズニーのクリエイティブアーティストによるスティッチの書き方教室の実施。

⑥ リロ&スティッチ・パーク

子供たちの大好きな遊具を集めたスティッチ・パークを展開。

⑦ ディズニー特設ショップ

リロ&スティッチとディズニーグッズ特設ショップの設置。

3. 常設展示・情報発信

県内数箇所（JR駅付近など）に、国際まんが博のインフォメーション機能を備え、まんが作品やアニメフィギュアの常設展示、地元アーティストなどによるミニライブなど定例イベントも実施する「まんが王国とっとり」への入場門を設置する。